

RECRUITING BOOK

中部経済産業局 新規採用案内

inside
METI

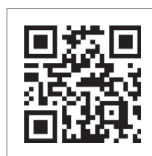
経済産業省
中部経済産業局
新規採用案内



中部経済産業局職員採用



no+e



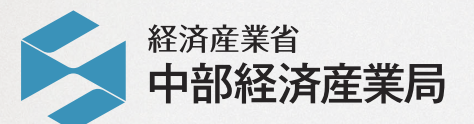
METI
Journal

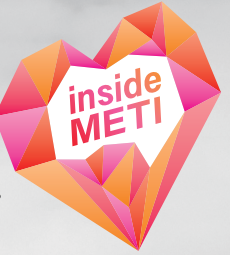
VOC
FREE



リサイクル適性
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

この印刷物は、国等による環境物品等の調達の
推進等に関する法律（グリーン購入法）に基づく
基本方針の判断を満たす紙を使用しています。





未来のチームメイトへ

「1860」時間、これは1日7時間45分×240日（年間勤務日数）を計算したものです。

1年間のうちこれだけ多くの時間で仕事をし、人生として考えれば、約1/3の時間が仕事に充てられることになります。

つまり、仕事をする場所を決めることは、これからの人生の歩み方を決めると言っても過言ではありません。

「ここなら自分の想像するキャリアを歩んでいける」「自分が働いているイメージがどんどん湧いてくる」

…そうした気持ちが自然と抱かれる職場を就職先に決めて欲しいと思います。

私たち中部経済産業局は、経済産業政策の最前線でこの地域とともに歩む国の機関です。

物価高や人手不足などの課題が山積み、不確実性が高くなっている今の時代、

私たちは、地域の様々な関係機関と密に連携をしながら、

地域に寄り添う国家機関だからこそできる、様々な政策を実行していくことが求められています。

この職場には、多様なキャリアを歩み、その経験を糧に中部の未来に向かって熱く仕事に取り組む職員がたくさん在籍しています。

皆さんも、自分らしさを生かしながら、中部地域の経済や産業を支える一員になってみませんか。

現場主義、自由闊達、挑戦・完遂。これは中部経済産業局が掲げる組織の価値（Values）です。こうした組織の価値に共鳴し、

このパンフレットで語られる職員の熱い思いや“等身大”の私たちにシンパシーを感じてくれる方の入局を心よりお待ちしております。

MISSION

～我々が果たすべき役割～

地域の力を未来に繋ぐ

VISION

～組織が目指す方向性～

私たち中部経済産業局は、時代の変化を先取りし、地域の施策展開をデザインして、いち早く発信・実行することで、変化に挑戦し続ける地域経済・産業の持続的な発展に貢献し、真に地域から信頼され期待に応えうる組織を目指します。

VALUES

～組織として共有する価値～

現場主義

地域によりそい、
地域経済の発展に
必要な施策を
実現・実行します。

自由闊達

多様性を尊重し、
個の力をチームとして結集し、
時代の変化に柔軟かつ
スピーディーに対応します。

挑戦・完遂

失敗を恐れずに挑戦し、
やり抜く姿勢を持ち、
困難な課題に対しても
果敢に取り組みます。



01 CLOSE-UP

先輩職員の仕事への想い

持続可能な未来に向けて



Mizuki Okiyama

沖山 瑞樹

資源エネルギー環境部 資源エネルギー環境課 カーボンニュートラル推進室

プロジェクトの主担当を 経験して

「カーボンニュートラル」という言葉を聞いたことはありますか？最近ではテレビCMでも流れてくるためご存じの方も多いかもしれませんが、「カーボンニュートラル」とは、気候変動の原因の一つである温室効果ガスの排出を全体としてゼロにすることであり、日本は2050年に脱炭素社会の実現を目指すと言っています。

私が所属するカーボンニュートラル推進室では、中部地域における脱炭素社会への移行に向け、企業への普及啓発や取組支援施策の展開を行っています。私の重要ミッションの一つにJ-クレジット制度の普及啓発事業があります。J-クレジット制度とは、省エネルギー設備の導入や再生可能エネルギーの利用によるCO2等の排出削減量と、適切な森林管理によるCO2の吸収量を「クレジット」として国が認証する仕組みです。当室では、毎年、企業や行政機関向けのセミナーを開催して制度の普及啓発を図っていますが、今年度はセミナーの企画から関係機関との調整、当日運営までを私が担当し、無事に開催することが出来ました。セミナーの企画は初めての経験で戸惑うこともありましたが、頼れる上司にたくさんサポートしてもらい、多くの参加者に制度の重要性を伝えることができたと思っています。若手のうちから責任ある仕事を任せられたり、プロジェクトの主担当を務められたりと、多くの経験を積むことで自身の成長につながっていると感じています。

ところで2025年は大阪・関西万博がありましたね！皆さんは行きましたか？開催期間中の国際博覧会協会への派遣について局内公募があったのですが、「一生に一度の経験をしたい！」との思いで立候補しました。1ヶ月という短い期間でしたが、普段とは全く異なる現場で多くの関係者と一緒に仕事をし、刺激的な経験をすることができました。若手の挑戦にも後押ししてくれる職場です。

大学時代の専攻は化学 理系の知識も生かして 働いています

私は大学時代、化学を専攻していました。私が所属するカーボンニュートラル推進室では、業務の中で多くの化学式が出てきます。もちろん化学を専攻していない職員でも問題なく仕事はできますが、私は学生時代の専門性を活かすことができ、化学式が出てきた際も全く抵抗がなく円滑に業務を進めるこ

とができています。

業務の中でやりとりする企業の方も技術系の方が多く、理系で良かったと思う場面はたくさんありました。「理系だから中部経済産業局では専門性を活かすことができないかな？」と迷われている方がいたら、理系だからこそ活躍できる業務もあるので是非志望を検討してみてください！また、「学生の頃はずっと専門的な勉強をしてきたけれど、専門分野にとらわれない仕事に携わってみたい」という方にも、広い業務内容で仕事ができる中部経済産業局はぴったりな職場だと思います。

仕事の 相棒



出張に行く機会が多いので、通勤カバンは動きやすいようにリュックサックを使用しています。直感で選びましたが、思いのほか使いやすくてお気に入りです！笑

My CAREER PATH

2023.4～2024.4

会計課

職員の出張にかかる手続きや旅費計算のほか、非常勤職員の給与計算を担っていました。
(縁の下力もち！)

2024.5～

資源エネルギー環境課 カーボンニュートラル推進室

各企業へのヒアリング、セミナーの企画から調整、施策の検討、税制申請書類の確認等、事務的な作業から企画業務まで幅広く行っています。

2025.4

2025年日本国際博覧会協会 イベント局

イベント情報を万博アプリへ登録したり、HPの更新を行っていました。また、会場内で上映する映像作品の上映方法の検討を行いました。



02 CLOSE-UP

先輩職員の仕事への想い



経験を糧に前へ

Koseuke Fujita

藤田 康佑

産業部 中小企業課 取引適正化推進室

2回の出向経験から 学んだこと

今年で発災15年を迎える東日本大震災。多くの尊い命が失われ、また福島第一原子力発電所事故により多くの方が長期間の避難を余儀なくされました。エネルギー政策を担う経済産業省としては、現在も最重要課題の一つとして福島の復興に全力で取り組んでいます。私は、入局3年目の春に福島県双葉町に出向し、復興支援業務に2年間従事しました。町民のニーズを拾い上げて町の施策に反映する、「現場主義」を体現したような世界で、事業再開支援や町内の買い物環境整備に向けた検討に取り組みました。

双葉町出向後、本省製造産業局素材産業課に出向し合成樹脂素材を担当しました。GX（グリーントランスフォーメーション）や循環型経済への移行、プラスチック汚染に関する国際条約制定の動きなど、業界を取り巻く状況がダイナミックに変化する中において、マクロな目線で物事を捉え、業界としてよりよい形となるよう進むべき方針を決定する、本省ならではの政策プロセスを身をもって経験できたことが自身の大きな財産になりました。海外出張で日本を代表して意見を述べる機会にも恵まれ、まさに「国を背負って立つ」国家公務員の醍醐味を経験しました。

ミクロな視点で業務を行う地方自治体と、マクロな視点で業務を行う本省、立場の異なる2回の出向経験を通じ、幅広い視野を持ち仕事ができるようになったと感じています。様々な角度から課題を検証し、議論を重ね



ることで良い政策は生まれます。今後はこれまでに得た知見や経験を組織に還元し、中部地域の経済成長に貢献していきたいと思っています。

「規制官庁」としての役割

現在所属する取引適正化推進室では、企業間取引の適正化を目指し、中小受託取引適正化法（通称：取適法）に基づく立入検査や事業者への改善指導等を行っています。さらに最近では、2024年11月に施行されたフリーランス法に基づき、フリーランスとの取引についても規制を強化しています。

経済産業省というと振興業務のイメージが強いと思いますが、前述の通り「規制官庁」の役割も担っています。法令違反が認められれば企業への指導を行い、強制力をもって取引内容を是正させることになるため、業務遂行に係る責任も重大です。しかし、適正な法執行によりサプライチェーン全体の取引

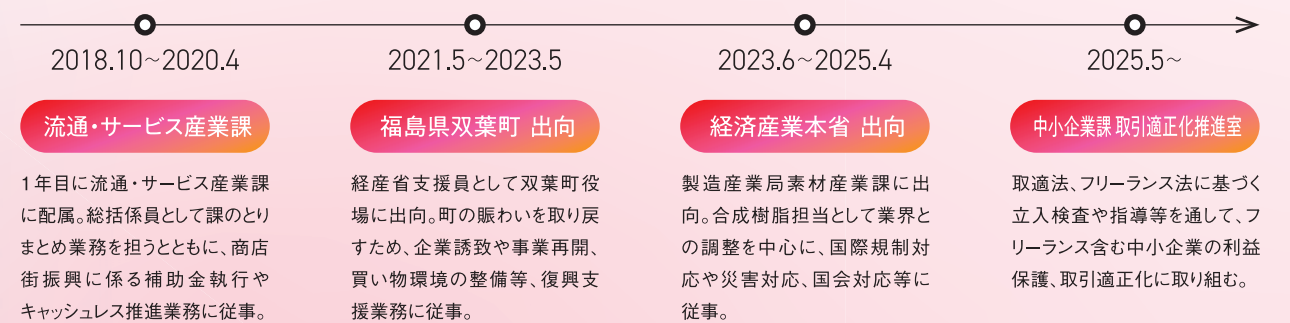
が改善されることで、政府の目指す「物価高に負けない賃上げ」の原資を確保するための価格転嫁にもつながり、社会全体に対して大きな貢献ができると考えています。こうした仕事ができるのは国家公務員ならではと感じており、日々のやりがいにもつながっています。

仕事の 相棒



福島出向時に職場の方からいただいた会津地方の郷土玩具「赤べこ」のキーホルダー。毎日傍で仕事を見守ってくれています。赤べこのご利益は「無病息災・厄除け」。相棒の力も借りつつ、今日も仕事がんばります！

My CAREER PATH



CAREER STEP

先輩職員のキャリアステップ

01

総務企画部 総務課

浅井 俊行

これまで中部地域を支える製造業に関わる部署や様々な分野（技術開発、IT、国際化、エネルギーなど）に従事するとともに、本省、福島復興、民間企業への出向という機会もいただきました。引き続き様々な分野に触れ、新しい経験を積みながら経済産業行政に力を尽くしたいと思います。



2009

入局

入局

入局

2016



2009-2010

産業技術課

(現:イノベーション推進課)

2010-2012

情報政策課(現:情報政策室)

中小企業へのIT経営導入促進、組込みシステム産業、ITS(高度道路交通システム)分野の振興業務に従事。当時はスマホが普及し始めた頃で、クルマとスマホが繋がることのような新サービスが提供できるか、地域の産学官によるコンソーシアムを整えながら検討し、名古屋モーターショー(当時)で新サービスのコンセプト提案を行いました。毎日が楽しく新鮮で、上司から多くのことを学びました。

2012-2014

総務課

2016

エネルギー対策課

2017-2019

消費経済課

入局1年目はエネルギー対策課でFIT法の認定業務を担当。大学は文系専攻だったため、見慣れない電気事業の用語や資料に苦戦しながらも、太陽光や風力発電に関する知識を習得していきました。続く入局2～3年目は消費経済課に配属され、割賦販売法の執行業務を担当。クレジットカード会社等への立入検査や、消費者保護を目的とした啓発活動に取り組みました。



2014-2016

(本省出向)

製造産業局 産業機械課

産業機械、工作機械、建設機械産業等を担当。省エネ型建設機械導入補助事業の予算措置や工作機械から取得できるIoTデータ活用に向けたワーキングの開催など、各産業が抱える課題に対して国として何ができるかを考え、関係者と方策を決めていくプロセスはとてもやりがいがありました。ちょっぴり?辛いときもありましたが、毎日が充実した本省生活でした。



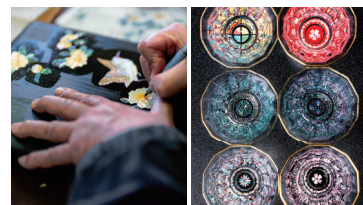
2019-2021

会計課

2021-2022

電力・ガス事業 北陸支局
地域経済産業課産業振興室

北陸支局は本局に比べて部署が少ない分、職員の担当業務領域が広く、様々な分野の仕事を任せられます。加えて、若手職員でも主体的に企画立案や政策実行に取り組める環境があり、自身の関心が高かった北陸地域の伝統工芸産業の振興について主担当として業務を任せてもらい、広報企画の立案や関係者との調整に注力しました。



2016-2018

製造産業課

鋳物や熱処理などの素形材産業の振興業務に従事。若手経営者のネットワークを構築し、共通の経営課題をテーマにディスカッションやセミナーを企画、運営しました。別部署の先輩方にアドバイスをもらいながら、なんとか取り組みを前に進めることができ、経営者の方から温かい言葉をかけてもらえることも。少しずつですが、自身の成長を実感。



2022-2024

育児休業

産休・育休合わせて1年7か月間お休みしました。夫(中部経済産業局勤務)も9か月の育児休業を取得し、日々成長する子どもの様子を2人で見守ることができました。職場復帰後は、それまでのゆったりとした生活から一転して慌ただしい毎日となりましたが、昼休憩の短縮や育児時間の取得によって退庁時間を早め、さらにテレワークを活用することで、子育てに十分な時間を充てられる働き方ができています。



02

総務企画部 企画調査課

柳澤 百々子

法執行の業務経験を通じて、公務員として法律を正しく理解して企業に伝えることの重要性を学んできました。一方で、現在の部署で社会が常に変化していることを強く実感しており、今後は企業の目線に立って取り巻く環境の変化を知る力を養い、施策立案能力を磨いていきたいと考えています。

2018-2020

民間企業出向

自動車関連企業に出向し、新規技術開発テーマの企画提案、海外含めた全社的なDXプロジェクトのとりまとめ等を担当。民間企業において、ゼロからイチを作り出す難しさを身をもって痛感…。経済産業省を外から見ることができ、貴重な出向経験となりました。

2020-2022

国際課

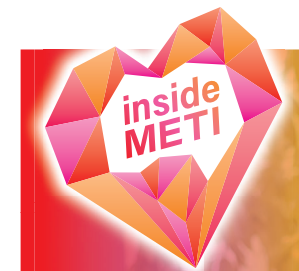
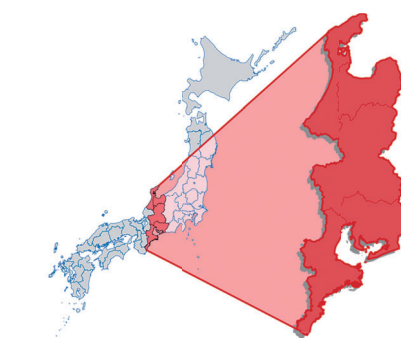
2022-2024

エネルギー対策課

2024- 現在

企画調査課

現在は、地域の経済動向を把握・分析する部署で働いています。私の担当は、中部地域の鉱産物・工業品の生産量データを集め、鉱工業の動きを示す指数を作成することです。こうした定量的な指標と、企業へのヒアリングで得られる定性的な情報を組み合わせることで、この地域で今何が起きているのかをより深く分析できる点に大きなやりがいを感じています。



2024-2025

中小企業課

2025- 現在

総務課

現在

現在



ONE DAY of METI



イノベーション推進課の
若手職員のとある1日を
ご紹介します

地域経済部 イノベーション推進課
研究開発支援担当 スタートアップ担当 知的財産室 知的財産担当
渡邊 菜月 大西 貴文 寺本 優花



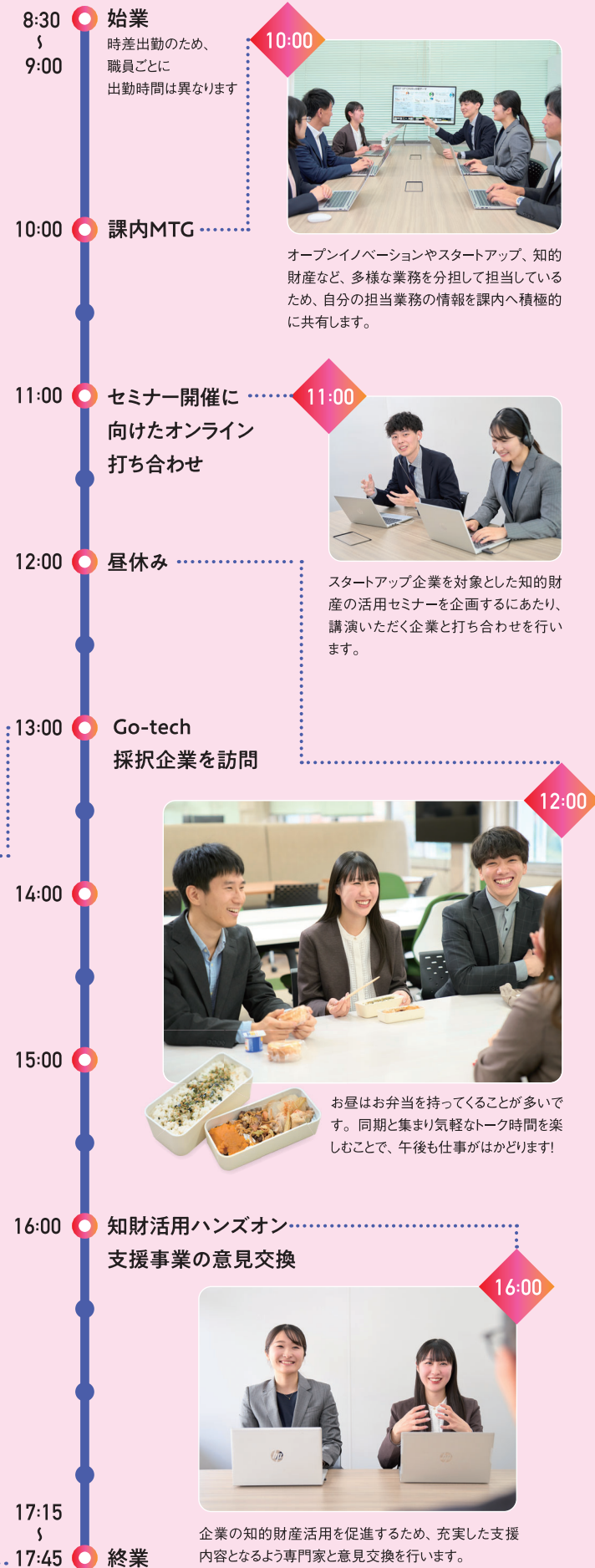
国の補助金（Go-tech 事業）を活用して研究開発に取り組む中小企業を訪問。
事業の進捗を確認します。

▶業務後の過ごし方

業務後は趣味のランニングや仕事仲間との飲み会で心身をリフレッシュしています！



イノベーション推進課では、オープンイノベーションをはじめ、企業の技術開発支援や知的財産の活用推進など多岐にわたる業務を担っています。職員毎の異なる業務領域や知見、人的ネットワークを融合しながら、より良い施策の企画・遂行に取り組んでいます。そんなイノベーション推進課のとある一日を、ご紹介します。



WORK STYLE of METI

柔軟な働き方の実現

時差出勤・フレックス制度

時差出勤を導入しています。また、一定期間内の総勤務時間を変えることなく、始業・終業時刻及び1日の勤務時間を設定できます。

在宅勤務(テレワーク)

多様な働き方を実現し、災害等の非常時の業務継続を可能とするため、一定の条件の下、在宅勤務を推進しています。

年次休暇の年間平均取得14日

年次休暇の1年間の平均取得日数は14日です。年次休暇は、年間20日(4/1採用は15日)が付与され、最大20日まで翌年に繰り越しができます。その他に夏季・結婚・ボランティア休暇などがあります。

仕事と家庭の両立支援

育児時間

未就学児を養育する職員は、1日を通じて2時間を超えない範囲で勤務時間を短縮、もしくは1年につき10日相当を超えない範囲で勤務しないことができます。

子の看護休暇

小学校3年生修了までの子の看護等のため、1年間に5日の範囲内で特別休暇を取得することができます。

男性の育児休業等取得率84%

配偶者出産休暇、育児参加休暇等を含めた30日以上での取得率は84%です。(令和3～5年度)

職員に対するキャリア支援

新規採用職員研修

入局直後に新規採用職員研修を受講し、職員としての基礎知識や働き方を学ぶことができます。研修を通じて知り合う全国の地方経済産業局の同期は、今後、切磋琢磨する大切な仲間です。

専門性強化のための研修

重要分野や特定政策について中部経済産業局だけでなく経済産業省本省での研修も受講可能です。部署の異動に応じて必要になる専門知識を習得できる環境を用意しています。

民間企業派遣研修

地域企業の経営理念や創意工夫、課題等を理解して今後の政策立案・実行に繋げることを目的に、若手職員を対象とした約3週間にわたる派遣研修を実施しています。

新規採用職員へのサポート

組織全体で新規採用職員が早期に安心して成長できる環境を整えるため、トレーナー制度を導入しています。トレーナーによる1on1の実施などを通じて新規採用職員の成長を促進します。

庁舎移転について

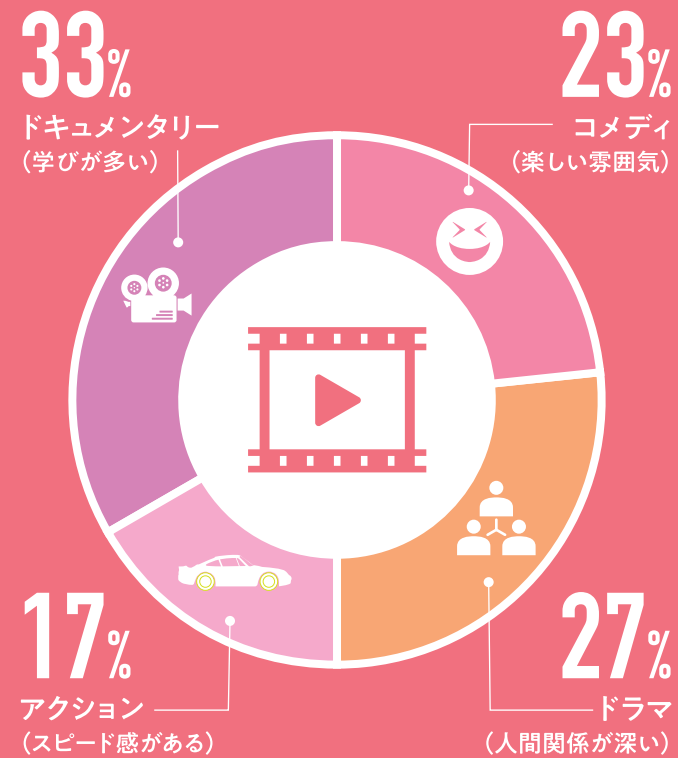
2026年7月予定



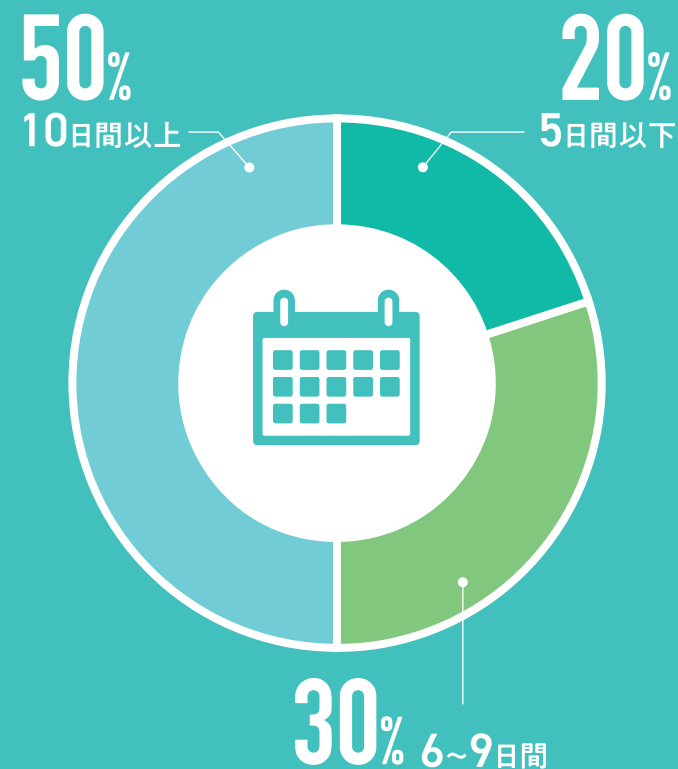
中部経済産業局は新しい庁舎に引っ越します。新しい「名古屋第4地方合同庁舎」は東海農政局、中部近畿産業保安監督部、中部地方環境事務所、中部地方整備局(港湾空港関係)が一緒に入居し、三の丸地区のまち・人・自然をむすぶ合同庁舎として行政機能の拠点となります。

新しく生まれ変わるオフィスで一緒に働きませんか。

Q 中部経済産業局を
映画のジャンルに例えるなら？



Q 今までで連続して取得した
最長の休暇期間は？



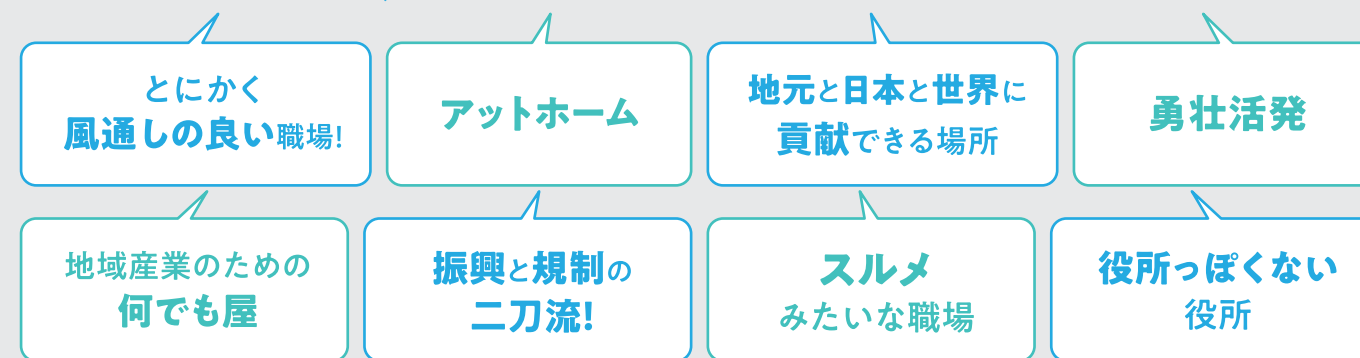
中部経済産業局の“今”をおしえて！

若手職員【等身大】アンケート



QUESTIONNAIRE

Q 中部経済産業局をひとことで表現すると？



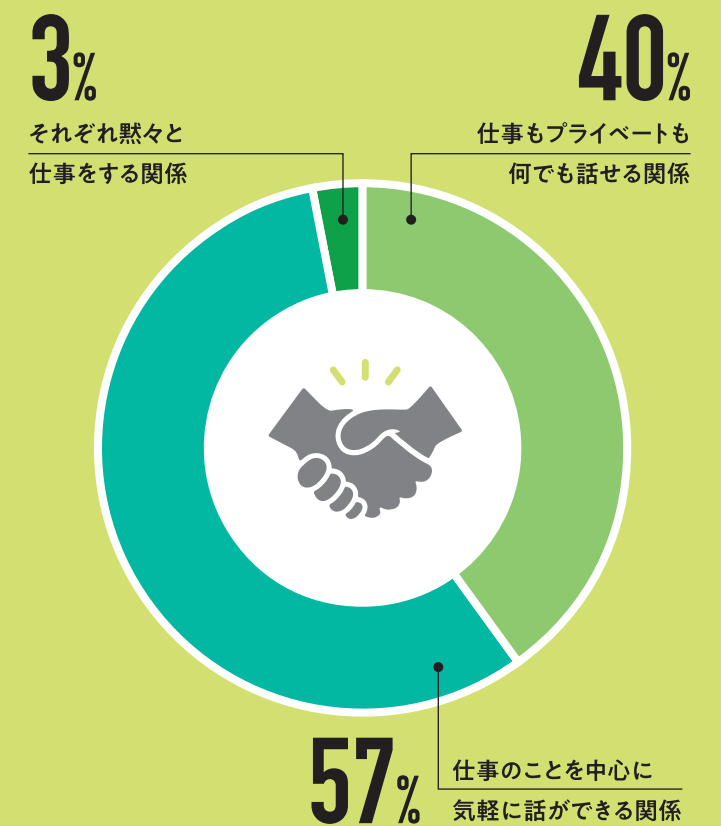
Q 休日の過ごし方は？



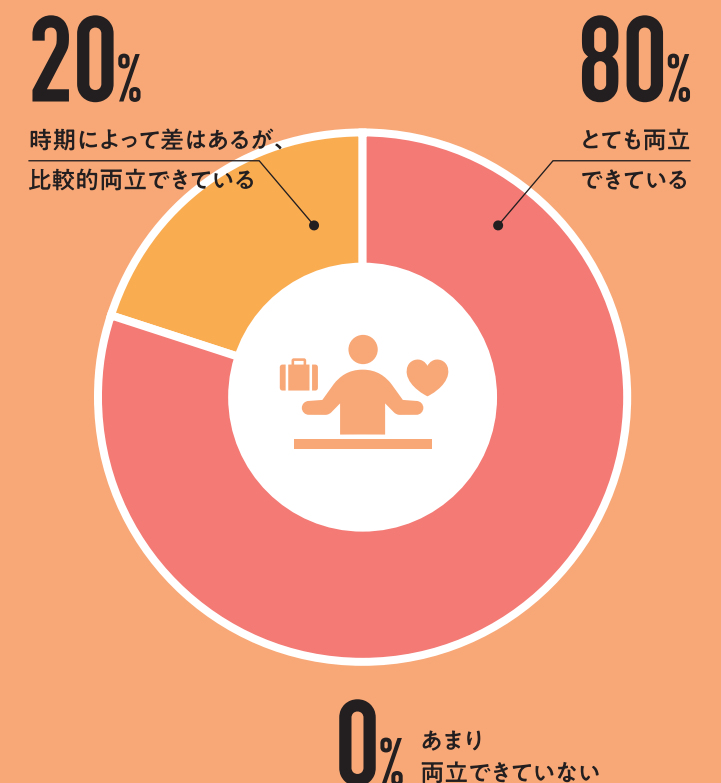
Q デジタルツールを業務でどう活用している？



Q 上司とはどんな関係？



Q 仕事とプライベートの
両立はできている？



FIRST YEAR VOICES

Join Us!

入局1年目職員ご紹介

入局1年目の職員から、これから中部経済産業局を目指すみなさんへのメッセージです
わたしたちと一緒に「地域の力を未来に繋ぐ」
そんなあなたをお待ちしています



環境・資源循環経済課／事務系

吉田 慶一郎

私が中部経済産業局について知ったのは官庁訪問直前の説明会がきっかけでしたが、魅力あふれる多様な業務や、何より明るく開けた職場の雰囲気に一気に引き込まれ、入局を決めました。現在は企業の方と直接お話しする機会の多い部署に所属しているので、1年目職員であっても、物怖じせず対話ができるよう心がけています。

総務課／事務系

畦元 凜音

説明会で感じた明るく温かい雰囲気に惹かれ、ここなら自分らしく働けると思い、志望しました。現在は人事として新卒採用などに携わり、気さくで優しく、仕事に情熱を持って取り組む素敵な先輩に囲まれて、充実した毎日を過ごしています。様々な職員がそれぞれの強みを活かしながら活躍するこの職場で、私たちと一緒に中部地域を盛り上げていきましょう!

流通・サービス産業課／事務系

安藤 響平

初めて中部経済産業局の説明会に参加したとき、自由闊達で明るい職員の方が多いという印象を受けました。入局後のギャップは少なく、業務内容が多岐にわたる賑やかな職場だと感じています。年次に関係なく自分の考えを表現できる環境がある職場だと思うので、「地域をよりよくしたい」という熱い想いを持った人をお待ちしています!

中小企業課／事務系

森 絢菜

中部経済産業局の説明会において、職員の皆さんの明るく温かい雰囲気がとても魅力的に映ったことを今でも覚えています。現在の業務は経済産業省にて管轄する小規模事業者支援を中心に、幅広く業務を担当しており、積極的に関係者とコミュニケーションをとることを意識しています。今後は振興業務や企業と直接関わることの多い業務に携わり、さらに視野を広げていきたいです。

総務課／技術系

國分 遼太郎

現在は総務課に所属しており、主に組織の運営業務に携わっています。多くの職員とコミュニケーションをとりつつ、正確さや迅速さが求められる業務をこなすなかで、日々成長を感じています。業務後にフットサルやジムで汗を流す職員も多く、仕事とプライベートの両立ができることも中部経済産業局の魅力です。

中部近畿産業保安監督部／技術系

大平 のぞみ

「温かい職場」というのが私の感じた第一印象です。初めは、自身の専攻分野とも違い、分からないことが多く不安もありましたが、判断に迷った時には、先輩や上司など気軽に相談できる方ばかりで安心して業務に取り組んでいます。今後はさらに専門的な知識を深め、よりスピーディーに業務を行えるようになります。

地域振興・人材政策課／事務系

稲垣 敬太

入局して最も驚いたのは、これまで抱いていた公務員のイメージとは異なるアットホームな雰囲気と風通しの良さでした。職場の様々な会議や意見交換の中でざっくばらんに意見を交わしていて、若手の意見にも「やってみよう」と前向きに反応してくれます。実際に、自分がやりたいと手を上げた仕事を任せてもらえるなど、やりたいことに挑戦できる職場だと感じます。

消費経済課製品安全室／技術系

小寺 歩果

業務の幅広さや説明会で感じた明るい雰囲気に惹かれ、入局しました。専門知識が必要な業務に取り組む中、周囲の温かいサポートを受けて学びを深めています。未知の分野に触れることで視野が広がり、日々刺激を受けながら仕事をしています。就職は人生の大きなライフイベント。皆さんもその一歩を、中部経済産業局で踏み出してみませんか。

エネルギー対策課／事務系

水野 凌

現在は課内の総括業務のほか、再生可能エネルギーの導入拡大を目的とした法律の審査業務を担当しています。中部経済産業局の魅力はなんといっても自由闊達なところにあると思います。良い意味で役所らしさがありません!新人であっても意見を求められる場面が多くあり、刺激的な毎日を過ごしています。是非、中部地域のために私たちと一緒に仕事をしましょう!